

地域保健医療計画 進捗状況 ～平成25年度の実施状況等が記載されています。～

◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

※1 疾病・事業の達成状況

区分	評価内容
4	全体的に順調
3	比較的順調
2	一部に努力を要する
1	全体的に努力を要する

※2 項目に対する達成状況

項目の達成度	想定以上	5	2	1
	想定通り	7	4	3
	想定以下	9	8	6
		想定以下	想定通り	想定以上
		コスト・期間の達成度		

圏域名	福山・府中二次保健医療圏
-----	--------------

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>予防対策 (がん～精神疾患)</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。 ○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。 		がん・生活習慣病の発症、重症化及び合併症発症予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診、特定健康診査の受診率向上に取り組みます。 ・がん検診、特定健康診査を受けやすい体制整備 ・受診のメリットや有効性等受診率向上に向けた広報活動の強化 ・継続受診の促進、未受診者(治療中の人を含む)への受診勧奨 ・要精検者への医療機関への受診勧奨及び受診状況の把握 ・ハイリスクの未受診者に対する積極的な受診勧奨と健康教育・保健指導等による事後フォローの徹底 ○ 効果的な健康教育の実施に努めます。 ○ ウイルスの持続感染が原因となって発症するがん(肝がん、子宮頸がん)の感染予防、早期発見及び重症化予防に取り組み、子宮頸がん予防ワクチン接種の推進に努めます。 ○ 肝炎ウイルス検査体制等の充実を図り、肝炎治療特別推進事業の円滑な実施に努めます。 ○ がん・生活習慣病を予防するため、正しい生活習慣(栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙等)の確立に取り組むとともに、健全な食生活が実践できる「食育」の推進に取り組めます。 ○ 生活習慣病発症リスク(肥満、血糖値及び血圧の上昇等)を低減するため、身体活動・運動の活発化(日常生活における歩数の増加、運動習慣の定着)の推進に取り組めます。 ○ 世界禁煙デー及び禁煙週間を中心に禁煙及び受動喫煙防止対策の機運を高めます。 ○ 全身の健康と関連の認められる歯科疾患(う蝕、歯周疾患)の予防対策の推進及び定期的な歯科健診の受診の勧奨に取り組めます。 	<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p> <p>(福山市医師会) ○世界禁煙デーおよび禁煙週間にあわせポスターなどにより禁煙および受動喫煙防止対策の機運を高めました。</p> <p>(松永沼隈地区医師会) ○平成25年7月6日に、福山市民病院と肝疾患診療拠点病院市民公開講座「肝がんにならないために、肝がんになったら」を共催しました。 ○平成25年7月30日に、福山・府中地域保健対策協議会第1回健康ひろしま21圏域計画推進実務者会議において、特定健診受診率について協議しました。 ○平成25年10月5日に、福山市民病院と、がん診療連携フォーラム市民公開講座「肺がんについて」を共催しました。 ○平成25年10月23日に、福山・府中地域保健対策協議会第2回健康ひろしま21圏域計画推進実務者会議において、肝がんの感染予防への取組み、がん・生活習慣病の普及啓発について協議しました。 ○平成26年2月15日に、福山医療センターと市民公開講座2014「前立腺がんのすべてがわかる！PSA検診による早期発見から前立腺がんの最新治療まで」の後援をしました。</p> <p>(府中地区医師会) ○パンフレット、ポスター等により特定健診・がん検診を勧奨しました。 ○府中市からの依頼で地域健康教育(脳卒中、慢性腎不全、糖尿病予防)に講師を派遣しました。また、府中市、福山市の健康福祉まつりにおける健康相談に医師を派遣しました。 ○府中地域産業保健センター健康相談窓口で担当医師による健診結果に基づく保健指導を実施しました。また全国労働衛生週間説明会時に各地で講演しました。「職場におけるロコモティブシンドローム対策」の必要性を4か所で啓発しました。 ○がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病など生活習慣病発症の予防に向けての小冊子を作成し市民へ配布しました。 ○厚生労働省が実施する腎疾患対策研究事業(CKD「腎疾患重症化予防のための戦略研究」)に協力し、腎臓を護るうえで重要な糖尿病治療について等の講演会を年2回実施しました。</p> <p>(福山医療センター) ・平成25年6月20日に、オープンカンファレンス「C型肝炎に対するDAA製剤の治療効果」を開催しました。 ・平成25年7月30日に、オープンカンファレンス「食道、胃癌の手術、化学療法、集学的治療」を開催しました。 ・平成25年8月8日に、オープンカンファレンス「現場からみた肝疾患と臓器関連」を開催しました。 ・平成25年11月27日に、オープンカンファレンス「肺癌における外科治療」を開催しました。 ・平成25年12月5日に、オープンカンファレンス「肺癌診療の動向」を開催しました。 ・平成26年2月15日に、市民公開講座「前立腺がんのすべてがわかる」を開催しました。 ・平成26年2月22日に、第22回消化器病教室「肝臓がんを予防するための食事とは」を開催しました。</p>			

・6月から、HPVワクチン定期接種の積極的な勧奨が一時中止されました。

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>予防対策(がん～精神疾患)</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。 ○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。 	がん・生活習慣病の発症、重症化及び合併症発症予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診、特定健康診査の受診率向上に取り組みます。 ・がん検診、特定健康診査を受けやすい体制整備 ・受診のメリットや有効性等受診率向上に向けた広報活動の強化 ・継続受診の促進、未受診者(治療中の人を含む)への受診勧奨 ・要精検者への医療機関への受診勧奨及び受診状況の把握 ・ハイリスクの未受診者に対する積極的な受診勧奨と健康教育・保健指導等による事後フォローの徹底 ○ 効果的な健康教育の実施に努めます。 ○ ウイルスの持続感染が原因となって発症するがん(肝がん、子宮頸がん)の感染予防、早期発見及び重症化予防に取り組み、子宮頸がん予防ワクチン接種の推進に努めます。 ○ 肝炎ウイルス検査体制等の充実を図り、肝炎治療特別推進事業の円滑な実施に努めます。 ○ がん・生活習慣病を予防するため、正しい生活習慣(栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙等)の確立に取り組むとともに、健全な食生活が実践できる「食育」の推進に取り組みます。 ○ 生活習慣病発症リスク(肥満、血糖値及び血圧の上昇等)を低減するため、身体活動・運動の活発化(日常生活における歩数の増加、運動習慣の定着)の推進に取り組みます。 ○ 世界禁煙デー及び禁煙週間を中心に禁煙及び受動喫煙防止対策の機運を高めます。 ○ 全身の健康と関連の認められる歯科疾患(う蝕、歯周疾患)の予防対策の推進及び定期的な歯科健診の受診の勧奨に取り組みます。 	<p>(福山市民病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県のがん検診推進キャンペーンの一連行事である「広島県がん予防・検診出前講座」の講師として、福山市内の企業や工場の研修会に医師を派遣しました。 ○ 県内では広島大学病院に次いで、肝疾患診療連携拠点病院の選定を受け、肝疾患相談室を設置し、肝炎に対する医療費助成・ウイルス検査・治療法等知識の普及啓発を行うとともに、肝炎医療専門医療機関連絡会や地域の医療従事者等の研修会など県東部の肝疾患診療体制の確保と診療の質の向上を図りました。 <p>(中国中央病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記、実施可能な範囲で実施しました。 <p>(日本鋼管福山病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成25年10月から、少しでも多くの方に「婦人科検診(乳がん・子宮癌検診)」を受診していただくよう、ドックの予約制限を緩和しました。 ○平成25年7月23日に開催された、がん医療連携協議会ワーキンググループ会議に参加しました。 ○平成25年9月19日に開催された、がん医療連携協議会に参加しました。 ○平成26年1月9日に、福山市医師会が主催する平成25年度在宅医療推進拠点整備事業「多職種連携会」に参加しました。 <p>(神石高原町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん検診、特定健診、歯周病健診、を同日に実施しました。 ・受けやすい体制として旧町村時代から継続 ・実施場所は4会場とし利便性を考慮 ・事前に申し込み制とし組織を通して手引書兼申込書を配布し周知をはかる ・実施時期も例年通り固定さらに秋に個別健診を未受診者へ通知し受診勧奨 ・要精検者へは後日勧奨通知の後、必要に応じて電話、訪問で対応 ○定期予防接種(子宮頸がん)を実施しました。 ○衛生教育を実施しました。 ・出前健康教室、運動教室等地域からの要望に応じてテーマを設定して各地域で実施 ・特定保健指導対象者以外にも専門スタッフにより教室を開催 ・乳幼児期から高齢者に至るまでブラッシング指導やフッ素塗布、歯科健診の実施 ・歯衛協と連携して歯科保健講演会、8020表彰、お口の川柳等一般や小中学校から募集し口腔に関する意識啓発実施 <p>(福山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん検診の要精検受診結果を健診実施機関に問い合わせ、未受診者に対して医療機関への受診勧奨を実施しました。 ○地区診断により、地域の健康課題に合わせた健康教育・健康相談を実施しました。 ○平成25年9月3日に、啓発パネル展示会場で健診を実施しました。 ○平成26年2月28日に、老人大学で健診を実施しました。 ○慢性腎臓病(CKD)及び健診受診の啓発ポスターを医療機関へ掲示依頼しました。 ○県との協働による健診受診勧奨はがきを送付しました。また併せて歯科健診も勧奨しました。 ○平成25年10月1日～12月3日に、電話による健診受診勧奨を実施しました。 ○特定保健指導対象者に対して、受診勧奨域の者への受診勧奨を実施しました。 ○健康増進事業及び特定感染症検査等事業における肝炎陽性者に対して、専門医療機関への受診勧奨を実施し、肝炎健康管理手帳を交付するとともに、広島県肝疾患患者フォローアップシステムへの登録を促しました。 ○医療機関における肝炎ウイルス検診を実施しました。 ○健康ふくやま21フェスティバル会場において、肝炎ウイルス検診を実施しました。 ○肝炎ウイルス陽性者に対する指導を実施しました。(集団健診受診者) ○第2次福山市健康増進計画・食育推進計画に基づき、生活習慣病予防の健康教育・健康相談・啓発事業等を実施しました。 ○運動習慣を定着するため、運動普及推進員の運動教室や健康運動指導士による実技指導を実施しました。また、ウォーキングによる健康づくりを推進するため、各学区ごとにウォーキングマップを作成し、運動教室等においてウォーキングを実施しました。 ○世界禁煙デー及び禁煙週間に合わせて、市役所等で禁煙パネル展を実施しました。また、受動喫煙防止啓発として、イエローグリーンリボン(たばこの煙を吸いたくない意思表示)運動を展開しました。 ○「歯の衛生週間」や「いい歯の日」にちなんで健康教室やパネル展示を実施しました。平成25年度9月から、妊婦歯科健診を開始しました。 				
						<ul style="list-style-type: none"> ・6月から、HPVワクチン定期接種の積極的な勧奨が一時中止されました。 	

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>予防対策(がん～精神疾患)</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。 ○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。 	がん・生活習慣病の発症、重症化及び合併症発症予防の推進	<p>○ がん検診、特定健康診査の受診率向上に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診、特定健康診査を受けやすい体制整備 ・受診のメリットや有効性等受診率向上に向けた広報活動の強化 ・継続受診の促進、未受診者(治療中の人を含む)への受診勧奨 ・要精検者への医療機関への受診勧奨及び受診状況の把握 ・ハイリスクの未受診者に対する積極的な受診勧奨と健康教育・保健指導等による事後フォローの徹底 ○ 効果的な健康教育の実施に努めます。 ○ ウイルスの持続感染が原因となって発症するがん(肝がん、子宮頸がん)の感染予防、早期発見及び重症化予防に取り組む、子宮頸がん予防ワクチン接種の推進に努めます。 ○ 肝炎ウイルス検査体制等の充実を図り、肝炎治療特別推進事業の円滑な実施に努めます。 ○ がん・生活習慣病を予防するため、正しい生活習慣(栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙等)の確立に取り組むとともに、健全な食生活が実践できる「食育」の推進に取り組めます。 ○ 生活習慣病発症リスク(肥満、血糖値及び血圧の上昇等)を低減するため、身体活動・運動の活発化(日常生活における歩数の増加、運動習慣の定着)の推進に取り組めます。 ○ 世界禁煙デー及び禁煙週間を中心に禁煙及び受動喫煙防止対策の機運を高めます。 ○ 全身の健康と関連の認められる歯科疾患(う蝕、歯周疾患)の予防対策の推進及び定期的な歯科健診の受診の勧奨に取り組めます。 	<p>(府中市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診、特定健診の受診率向上に取り組めました。 ・がん検診・特定健診を同時実施(集団健診6月9日間、11月11日間) ・受診率向上のための健康教育、広報活動強化 ・継続受診の促進(ゴールドカードの発行と特典、継続受診者への受診料の助成) ・未受診者(治療中の人を含む)の電話受診勧奨(9月に10日間、12月～2月予定) ・未受診者の健診受け入れ体制強化(医師会・市立病院と連携) ・生活習慣病の治療情報提供の推進(6～3月) ・がん精検未受診者の受診勧奨及び結果把握 ○ 効果的な保健指導を実施しました。 ・訪問等を取り入れた特定保健指導の実施と血液検査による評価 ・糖尿病予防教室の実施 ○ がん・生活習慣病を予防のための生活習慣の改善推進、食育を推進しました。 ○ 生活習慣病発症リスク(肥満、血糖値上昇等)を低減するため、身体活動・運動の活発化(日常生活における歩数の増加、運動習慣の定着)を推進しました。 ○ 肝炎ウイルス要精検者の訪問による受診勧奨とフォローアップシステム登録を勧奨しました。 ○ 歯周疾患検診、障害者歯科健診を勧奨・実施しました。 				
			<p>(地対協)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康増進計画委員会(委員会2回)及び実務者会議(会議3回)を開催しました。 <p>【主な検討内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診・特定健診の受診率向上対策についての協議 ・ウイルスの持続感染が原因となって発症する肝がんの感染予防等への取組 ・がん・生活習慣病を予防するための施策の普及への取組 <p>○ 健康ひろしま21圏域計画推進に関する研修会を開催しました。(参加者123名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告「健康ひろしま21(第2次)圏域計画」の概要について ・講演「乳がんとはどんな病気か」～乳がん検診の重要性について～ <p>がん検診等の受診率向上対策の一環及び関係者の資質の向上を目的とし、福山市民病院 山本真理先生を講師に迎え、乳がん検診の重要性について講演会を実施した。行政や医師会等の関係者がマンモグラフィ検診の有用性を認識し、がん検診普及啓発のための意識付けができた。</p> <p>○ 健康ひろしま21(第2次)圏域計画の推進を実施主体別アクションをもとに、保健課及び市町等の関係機関で圏域計画の推進に取り組めました。</p>			<p>・6月から、HPVワクチン定期接種の積極的な勧奨が一時中止されました。</p>	

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>予防対策（がん～精神疾患）</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差（日常生活に制限のある、不健康な期間）を短縮します。 ○また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策に 	健康づくりに、積極的・継続的に取り組める社会環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○望ましい生活習慣を確立し、ライフステージに応じた効果的な食育推進に取り組めます。 ・適正な食品表示が行われるよう関係機関が連携し、食品の表示指導・点検を実施します。 ・健康づくり実践の支援等を行う店舗（健康生活応援：栄養成分表示、ヘルシーメニュー提供、禁煙・分煙・禁煙支援等）の増加に取り組めます。 ○公共施設等における敷地内の禁煙化を推進し、ライフステージに応じ身近な場所で喫煙防止・禁煙支援が行われる体制整備を推進します。 	<p>(福山市医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成25年5月18日、5月19日に開催された、福山ばら祭り2013における会場内禁煙を維持するため、福山市と医師会、39の医療機関と協力して看板設置などの取り組みを実施しました。 <p>(福山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎月19日又は毎月29日に地産農水産物を使用した試食会を実施し、「食育」と「地産地消」の啓発を実施しました。 ○第8回食育推進全国大会にて「食育」のパネル展示を実施しました。 ○ヘルシーメニューコンテストを市民対象に実施し、健康ふくやま21フェスティバルで表彰しました。 ○健康ふくやま21フェスティバル、福山うずみフェスタで「食育劇場・総選挙」を実施することで、「食育」「地産地消」の啓発を実施しました。 ○健康ふくやま21フェスティバルにおいて、健康生活応援店の啓発を実施しました。 ○平成26年2月2日に、福山市食育講演会を実施しました。 ○広島県食品表示適正化推進月間に、関係団体と連携して、食品関係施設において食品表示の監視指導を実施しました。 ○公共施設等における受動喫煙防止対策に関する通知を、市の施設管理関係課に情報提供し、適切な受動喫煙防止措置を講じるよう周知しました。 ○禁煙週間に市役所等3会場で「たばこ健康」についてのパネル展を実施しました。また、併せて禁煙相談、呼気中一酸化炭素濃度測定を実施しました。 ○世界禁煙デーにあわせて、福山市保健所を含む福山すこやかセンターの敷地内禁煙を実施しました。 ○市内小中学校へ薬剤師等の講師が出向き、喫煙による健康への影響の講演会を実施しました。 ○保健所職員を対象としたたばこ対策講演会を実施しました。 <p>(府中市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○望ましい生活習慣の確立とライフステージに応じた食育を推進しました。 ・健康生活応援の増加推進 ・定例ウォーキング実施地域増加の推進(8地区) ・みんなで歩こう会、地域ふれあいウォーキングの開催。 ・てくてくウォーキング手帳の発行 ・夢体操普及のための体操指導員活動 ○公共施設等における敷地内の禁煙の推進と禁煙希望者の個別禁煙教育を実施しました。 <p>(神石高原町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政の各課を超えて連携しました。 ・食育推進ネットワーク協議会設置により各担当課部会制で課題に取り組み実施 ○出前健康教室を実施しました。 ・地域で調理実習を含めバランスガイド等指導 ○母子保健を推進しました。 ・乳幼児の集まり、妊婦教室等で食育に関する情報提供、指導の実施 <p>(東部保健所福山支所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育推進圏域連絡会議を2回開催し、関係機関との情報交換を行い、食育推進に向けた情報提供等を行いました。 ○農林や農政局、市町関係機関等と連携し食品表示に係る点検を実施しました。来所による食品製造事業者への相談や適正な表示について指導しました。 ○受動喫煙防止対策及び健康生活応援店普及事業において、禁煙・分煙応援店や食生活応援店の拡大に向けた事業に取り組み、平成24年度の約1.5倍に増加、特に禁煙店舗増加に取り組みました。(H26.1.6現在の店舗数:禁煙・分煙13店舗、食生活支援18店舗、延31店舗) ○5～6月の世界禁煙週間や9月の健康増進普及月間等の機会に、庁舎における禁煙化、受動喫煙防止対策の啓発に取り組めました。 ○平成26年2月～福山庁舎敷地内の喫煙場所を見直し、受動喫煙防止への取り組みが進められました。 				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>予防対策(がん～精神疾患)</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。 ○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。 	<p>こころの健康の保持増進</p>	<p>○ こころの健康問題が正しく理解されるよう、相談事業や医療機関情報等の普及啓発に取り組むとともに、市町等と連携し、早期相談及び早期受診の促進に努めます。</p> <p>○ 身近な地域において精神保健福祉に関する専門相談が受けられる体制整備を推進し、必要に応じ関係機関と連携し支援を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤労者世代へのうつ・自殺予防対策に係る関係機関の連携及び自殺ハイリスク者対策を推進し、医療連携によるサポートシステムの構築を図ります。 ○ 認知症患者に対する支援体制の充実に取り組みます。 	<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p> <p>(深安地区医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心の相談室を福山市で週1回実施しました。 ○うつ・自殺対策サポートを産業医、かかりつけ医、精神科医で連携を行う方向で手引きを発行しました。 <p>(府中地区医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かかりつけ医と精神科医の紹介連携システムの活用を図りました。(H22.2月から府中地区医師会として稼働)H25実績2件 ○府中地域産業保健センターとしてメンタルヘルス相談日(年4回)を開催しました。 ○府中市の依頼で健康教育(精神疾患、依存症、うつ自殺対策、認知症予防)に講師を派遣しました。 <p>(福山医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん相談支援室の開設して「がん相談窓口」の利用促進を図りました。 ○がんサロンミニレクチャーを開催しました。 ・平成25年4月12日「化学療法時の口腔ケアについて」 ・平成25年5月10日「今日からできるスキンケア」 ・平成25年6月14日「ウイッグの上手なかぶり方とお手入れ方法」 ・平成25年7月12日「脱毛中の頭皮ケアとメイクのコツ」 ・平成25年9月13日「がんところどころ」 ・平成25年10月11日「アロマで香りを楽しみましょう」 ・平成25年11月8日「がんでもできるリハビリテーション」 ・平成26年1月10日「リンパ浮腫とその対策」 ・平成26年2月14日「痛みを緩和する放射線治療」 ・平成26年3月14日「食欲がない時の食事の工夫」(予定) <p>(中国中央病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記、実施可能な範囲で実施しました。 <p>(福山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○精神保健福祉相談日を開設しました。 ○市民啓発として、精神保健福祉講演会や健康教室を実施しました。 ○認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を見守り、支援するための認知症サポーター養成講座を、地域、企業、消防署、小中学校等で実施しました。また、講座修了者を対象に、認知症サポーターステップアップ研修を実施し、地域でのボランティア活動を推進しました。 ○認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバン・メイトの資質向上のため、研修会を実施しました。今年度は、認知症疾患医療センターから医師を招いて研修を実施しました。 				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>予防対策(がん～精神疾患)</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。 ○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。 	<p>こころの健康の保持増進</p>	<p>○ こころの健康問題が正しく理解されるよう、相談事業や医療機関情報等の普及啓発に取り組むとともに、市町等と連携し、早期相談及び早期受診の促進に努めます。</p> <p>○ 身近な地域において精神保健福祉に関する専門相談が受けられる体制整備を推進し、必要に応じ関係機関と連携し支援を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤労者世代へのうつ・自殺予防対策に係る関係機関の連携及び自殺ハイリスク者対策を推進し、医療連携によるサポートシステムの構築を図ります。 ○ 認知症患者に対する支援体制の充実に取り組みます。 	<p>(府中市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心の健康相談を開設しました。 ・精神保健福祉士による相談(毎月2回)、精神科医師による相談(年1回)、心のケア相談(集団健診で18日間) ○啓発講演会を開催しました。 ・精神保健福祉講演会(6・7・11月) ・自殺対策講演会(5・9・2月) ○人材育成研修会を開催しました。 ・管理監督者研修会(10・11月) ・メンタルサポート支援者研修会(9・10・11月) ・民生・児童委員地区別研修会(5地区) ○啓発活動を実施しました。 ・うつ・自殺予防啓発パンフレット作成(9月)配布 ・自殺対策キャンペーン事業(9・10・3月) ・心の健康標語を募集(7月)・表彰(10月) ・標語入り封筒・メモ帳作成(9月) ○心の支援ネットワーク会議、事業場健康づくり推進委員会等を開催し、関係機関の連携を強化しました。 <p>(神石高原町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期相談を実施しました。 ・4月に年間計画チラシを世帯に配布 ・精神科医師、精神保健福祉士、保健師を中心に予約制にて実施 ○障害ボランティア活動を実施しました。 ・継続研修 ・ゲートキーパーの研修 ○当事者支援を実施しました。 ・家族会支援 ・毎月ソーシャルクラブ実施 <p>(東部保健所福山支所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○府中市に年2回、神石高原町に年6回出向き、専門医によるこころの健康相談(うつ、ひきこもり、認知症などの相談)を開催しました。 ○市町等関係機関がかかえる困難事例の相談に応じ、関係機関と連携を図り、早期受診等の対応を行いました。 <p>(地対協)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○うつ自殺対策医療連携協議会において、勤労者世代のうつ・自殺対策を検討しました。(3回開催) ○今年度は各市町毎に3会場で産業保健関係者研修会を開催しました。(延245人参加) ○勤労者の実態調査報告及び講演を実施しました。 ・いま、職場に求められるメンタルヘルス対策 ・睡眠は脳と心の栄養 ○地域医療連携フォーラムを開催しました。(参加者171人) ・基調講演「職場のメンタルヘルス対策～早期発見から医療地域へ」及びシンポジウム「職場のメンタルヘルス対策の実際」において事業所、産業界、精神科医の立場から発言をしてもらう。 ○ストレスの気づきや解消方法、こころの健康や相談窓口の周知を図るためリーフレット作成し、関係機関に配付しました。 ○不眠に悩む人に相談・受診を促すため、のぼり旗「眠れていますか」を作製・配布した。 				

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>がん医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どこに住んでいても、どんながんになっても、適切で安心・安全ながん医療を受ける体制が整っています。 ○ 全てのがん患者と家族が、希望に応じて住み慣れた地域で、適切な在宅緩和ケアを受ける体制が整っています。 		がん医療提供体制の向上と均てん化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連携パスの当圏域への更なる普及と、切れ目のない医療連携を推進するため、連携パスの円滑な運用を図る必要があります。地対協、医師会及び関係医療機関は、連携パスの圏域への普及と円滑な運用に取り組みます。 ○ 県境を越えた診療連携クリティカルパスの運用について検討します。 ○ がん医療水準は着実に向上していますが、情報も少なく十分な医療体制が整っていない5大がん以外のがんについても、広島県の動きに呼応して適切な医療体制の現状把握や情報収集に努めます。 ○ 周術期における口腔管理について、歯科と医療機関の連携を図ります。 	<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所は「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p> <p>(深安地区医師会) 乳がんのパスは順調に運営されていると思います。他のがんについても徐々に施術が増えていると思います。</p> <p>(松永沼隈地区医師会) ○福山府中圏域5大がん地域連携クリティカルパス運用マニュアルの活用を図りました。 ○平成25年7月25日に開催された福山・府中地域保健対策協議会第1回保健医療計画委員会において、5大がん共通クリティカルパスによる医療連携の取組み、パスの実施実績の把握について検討しました。 ○平成25年9月19日に開催された福山・府中地域保健対策協議会第1回がん医療連携協議会において、5大がんの地域連携クリティカルパス運用現状報告と今後の課題について協議しました。</p> <p>(府中地区医師会) ○連携パスへの普及、参加を勧奨しました。</p> <p>(福山歯科医師会) ○周術期における口腔管理について、福山市歯科医師会では平成24年10月より福山医療センターと連携を図ってきたが、平成26年2月より、新たに福山市民病院、日本鋼管福山病院、井上病院と連携を図ることとしました。</p> <p>(福山市民病院) ○地域がん診療連携拠点病院として、福山・府中二次医療圏における質の高いがん医療の提供、がん診療・連携の円滑な推進を図りました。 ・研修会(がん診療連携フォーラム)の実施 ・市民公開講座の開催 ・がん登録、5大がんを中心とした地域連携クリティカルパスの整備・運用 ・がん相談支援センターの設置による情報提供及び収集等に取り組んでいる。 ○2013年度(平成25年度)から、診療科に歯科口腔外科を設置、口腔顎顔面外傷や口腔腫瘍の診療機能を整備しました。</p> <p>(地対協) ○がん医療連携協議会を開催し、5大がん地域連携パスの運用状況、県内共通連携パスの普及啓発について協議しました。 ○各地区医師会へ依頼して、広島がんネット、県内共通連携パスの普及啓発を図りました。</p>			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>がん医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どこに住んでいても、どんながんになっても、適切で安心・安全ながん医療を受ける体制が整っています。 ○ 全てのがん患者と家族が、希望に応じて住み慣れた地域で、適切な在宅緩和ケアを受ける体制が整っています。 		緩和ケア体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん診療連携拠点病院を中心に研修会等を実施します。 ○ 医療機関は、緩和ケア病床の整備を進めるとともに、在宅緩和ケアを推進するための支援体制の構築に取り組みます。 ○ がんと診断された時から、緩和ケアの提供を図るとともに、がん末期医療の緩和ケアにおける医療機関との連携を推進します。 	<p>(福山市医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5/31, 11/11に福山市医師会主催で緩和ケアの講演会を開催し、医療従事者等の資質向上並びに連携を図りました。 <p>(府中地区医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緩和ケア研修会への参加を奨励しました。 <p>(福山医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成25年5月17日に、オープンカンファレンス「緩和ケアにおけるリハビリテーションの可能性と課題」を開催しました。 ○平成25年9月15日～16日に、がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会を開催しました。 <p>(福山市民病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緩和ケア病床16床を有し、県東部の緩和ケアセンター的役割を目指している。また、緩和ケアチームを整備し、院内での緩和ケア提供を行いました。 ○がん診療連携拠点病院として、厚生労働省の認可を受けた県のプログラムにより「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」を実施しました。 <p>(中国中央病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成25年6月29日～30日に、緩和ケア研修会「平成25年度がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」を実施し、緩和ケア従事医師の資質向上を図りました。 ○平成25年7月18日に、地域の医療機関にも出席いただいた緩和ケア講演会「地域における急性期病院の緩和ケア」を開催しました。 ○平成26年1月23日に、地域の医療機関にも出席いただいた緩和ケア講演会「痛みの初期アセスメント・継続アセスメントの進め方」を開催しました。 			

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
脳卒中対策 【目指す姿】 ○ 急性期から回復期、維持期までの切れ目のない保健・医療・福祉サービスの提供体制が構築され、関係機関相互の連携体制が整っています。 ○ 適切な病院前救護活動が可能で、搬送先医療施設への円滑な搬送が行える体制が整っています。		脳卒中医療連携体制の推進	○ 備後脳卒中ネットワーク及び計画管理病院は、引き続きネットワークの充実に努め、回復期から在宅までの医療連携を促進します。 ○ 在宅におけるADLを維持向上するために、退院後の通院、在宅医療を担う病院・診療所や、リハビリテーション等の医療系サービスを担う介護サービス事業所まで含めた連携を行い、退院後も切れ目のない医療・介護サービスを提供する体制を構築します。	(松永沼隈地区医師会) ○平成25年9月19日に開催された第11回備後脳卒中ネットワークシンポジウムに共催しました。 ○平成25年11月16日に開催された備後脳卒中ネットワーク市民公開講座「備後地域の脳卒中連携について」「笑ってストレス解消！脳卒中予防！」に共催しました。		—	
			(備後脳卒中ネットワーク) ○備後脳卒中地域連携を考える会を開催し、脳卒中地域連携クリティカルパスに関する講演や、備後脳卒中連携バスの運用事例を報告し、意見交換を行いました。 ○備後脳卒中ネットワークシンポジウムを開催し、「維持期」における連携をテーマに、講演会やパネルディスカッションを実施しました。 ○市民公開講座「脳卒中予防は今から！」を開催し、脳卒中の予防に関する普及啓発を行いました。 ○連携実務者研修会を開催し、脳卒中に限らず、がん連携、糖尿病連携、認知症連携など幅広い連携の在り方について研修を実施しました。 ○FIM講習会を開催し、脳卒中連携バスを運用する施設間の評価尺度を標準化するための研修を実施しました。				
		救急搬送体制の充実	○ 地対協等関係団体は、PCECコースの受講支援や、救急搬送体制の充実と連携を図ります。	(福山地区消防組合) ○平成25年9月8日に、福山市、福山・府中地域保健対策協議会、福山市医師会、福山地区消防組合が主催し、福山府中圏域MC協議会が共催する、PCECコースを実施しました。指導者：30名、受講生：24名			
				(地対協) ○地対協救急医療委員会を、圏域MC協議会と合同で開催し、圏域における救急搬送の状況や、福山方式救急搬送病名登録システムについて、協議しました。			

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
急性心筋梗塞対策 【目指す姿】 ○ 当圏域においては、急性心筋梗塞の急性期医療体制は概ね整っていることから、関係する医療機関、医師等の医療従事者、県、市町、消防機関等が連携して、発症予防、救護、回復期の地域連携サポート体制の構築に取り組むことで、急性心筋梗塞の総合的な医療連携体制の構築を目指します。 ○ 急性期から回復期、再発予防まで地域連携クリティカルパスの利用等により、切れ目のない医療連携体制が構築されています。 ○ AEDが普及し、PAD（非医療従事者による早期除細動）が広く適切に運用されています。	医療連携体制の構築	○ 心筋梗塞の再発と新たな梗塞の予防のためには、患者に対する適切な教育や、地域連携クリティカルパスを活用した、かかりつけ医との連携によるケアの継続性の確保と、質の向上を図ります。	(府中地区医師会) ○がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病など生活習慣病発症の予防に向けての小冊子を作成し市民へ配布しました。	平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】		—	
	AED(自動体外式除細動器)の普及・啓発	○ PAD(非医療従事者による早期除細動)を目的に、AED(自動体外式除細動器)の設置・促進、普及啓発等に努めます。	(深安地区医師会) ○各医療機関にAEDを設置しました。 (松永沼隈地区医師会) ○平成25年9月12日 救急法講習会を開催し、医療・福祉従事者、地域住民等に対してAEDの普及啓発を図りました。 (府中地区医師会) ○市民のための救急医療講演会を開催し、脳卒中・急性心筋梗塞について市民公開講座を開催しました。併せて消防署によるAED実技講習も実施しました。医療関係者及び多くの市民が参加。市民の参加者127名へ「CAB+Dカード」を配布しました。 ○救急の日「救急法等講習会」を開催し、講演の後、併せて消防署による講演とAED実技講習も実施しました。医療関係者及び多くの市民が参加(参加者111名)しました。 (中国中央病院) ○これまでに、院内に全6台整備しました。 1階 外来救急室 1台 1階 リハビリ室 1台 2階 生理検査室 1台 3階 3南病棟 1台 4階 4南病棟 1台 5階 5南病棟 1台 (府中市) ○医師主催の「救急医療講演会(6月)」、「救急法等講習会(9月)」において、心肺蘇生法及びAED使用実技指導を後援しました。 (福山地区消防組合) ○各署所で実施する救命講習をはじめ、バラ祭り、ふれあい福祉祭り等での広報を実施しました。 (地对協) ○各地区医師会と福山地区消防組合が共催する「救急法等講習会」の支援を行いました。				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>糖尿病対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民が糖尿病について正しい知識を持ち、適切な生活習慣を確立することで、糖尿病を予防します。 ○ 患者自身が正しい理解し、自覚を持って健康管理を行うことにより、病状の進行や合併症の併発・重症化が減少します。 ○ 医療連携体制が整い、糖尿病の進行や合併症の発症・重症化が減少します。 		医療連携体制の構築	<p>○ 医療機関は、治療継続、症状管理、合併症予防のため、地域における各機能に応じた医療機関の連携を推進します(地域連携クリティカルパスの導入など)。</p>	<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p> <p>(福山市医師会) ○世界糖尿病デーにあわせて、平成25年11月9日の13:00から17:00まで、福山地区ブルーサークルイベントとして、血糖測定サービスを行い、糖尿病の予防対策の推進を行いました。血糖測定539名、眼底検査28名。</p> <p>(松永沼隈地区医師会) ○平成25年11月9日の世界糖尿病デー福山地区イベントを後援しました。</p> <p>(府中地区医師会) ○府中市の依頼で地域健康教育(糖尿病予防)に講師を派遣しました。 ○厚生労働省が実施する腎疾患対策研究事業(CKD「腎疾患重症化予防のための戦略研究」)に協力し、腎臓を護るうえで重要な糖尿病治療について等の講演会を年2回実施しました。</p> <p>(中国中央病院) ○多職種と協働して、糖尿病教室を開催しました。 ○糖尿病認定看護師による療養の支援、指導を行いました。 ○紹介医、かかりつけ医と連携し定期的なフォローを実施しました。</p> <p>(神石高原町) ○糖尿病教室を実施しました。 ・特定健診(集団、個別)受診結果によりハイリスクの対象者を抽出(3回コースにて実施) ・平成26年3月に、医師による糖尿病講演会を開催しました。(予定)</p>			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>精神疾患</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制が整っています。 ○ 医療機関の連携による必要な医療を受けられる体制が整っています。 ○ 認知症患者に対する医療・支援体制が充実しています。 <p>認知症の地域連携クリティカルパスを圏域内全域で導入されています。</p> <p>(第5期ひろしま高齢者プランにおいて、地域連携パスを平成32年度末までに、県内全域(22地域)に導入することを目標としています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺死亡率(人口10万対)を16.8まで減少させます。 <p>(広島県自殺対策推進計画において、県の自殺死亡率(人口10万対)を平成27年度末までに16.8まで減少させることを目標としています。)</p>	<p>精神保健に関する啓発相談体制の充実</p>	<p>○ ころの健康問題の正しい理解のために、あらゆる機会を通じて普及啓発を行います。</p> <p>○ 保健所・市町での相談体制を維持向上させ、住民が身近な地域において精神保健福祉に関する相談が受けられる体制を整備し、住民のころの健康の保持増進を図ります。</p> <p>○ ひきこもり・自殺やうつ等の専門相談を実施し、個別相談に応じるとともに、必要に応じて関係機関と連携し、当事者及び家族への支援を行います。</p>	<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p> <p>(深安地区医師会) ○地域にて、講習会等を行いました。</p> <p>(府中地区医師会) ○府中地域産業保健センターとしてメンタルヘルス相談日(年4回)を開催しました。 ○府中市の依頼で健康教育(精神疾患、依存症、うつ自殺対策、認知症予防)に講師を派遣しました。</p> <p>(福山市) ○精神保健福祉相談日を開設しました。 ○市民啓発として、精神保健福祉講演会や健康教室を実施しました。 ○家族等を対象とした、家族教室・家族交流会を開催しました。</p> <p>(府中市) ○心の健康相談を開設しました。 ・精神保健福祉士による相談(毎月2回)、精神科医師による相談(年1回)、心のケア相談(集団健診で18日間) ○心の健康問題の正しい理解のため啓発講演会を開催しました。 ・精神保健福祉講演会(6・7・11月) ・自殺対策講演会(5・9・2月) ○人材育成研修会を開催し、支援者育成と、支援者自身の心のメンタルヘルスクアを推進しました。 ・管理監督者研修会(10・11月) ・メンタルサポート支援者研修会(9・10・11月) ・民生・児童委員地区別研修会(5地区) ・精神保健福祉ボランティア研修会(11月) ○啓発活動を実施しました。 ・うつ・自殺予防啓発パンフレット作成(9月)配布 ・自殺対策キャンペーン事業(9・10・3月) ・心の健康標語を募集(7月)・表彰(10月) ・標語入り封筒・メモ帳作成(9月) ○会議の運営によるネットワーク間及び関係機関の連携を深め、当事者・家族の支援を行いました。</p> <p>(神石高原町) ○定期相談を実施しました。 ・4月に年間計画チラシを世帯に配布 ・精神科医師、精神保健福祉士、保健師を中心に予約制にて実施 ○障害ボランティア活動を実施しました。 ・継続研修 ・ゲートキーパーの研修 ○当事者支援を実施しました。 ・家族会支援 ・毎月ソーシャルクラブ実施 ○社会資源の活用を図りました。 ・作業所との相談会実施 ・障害担当者会議毎月実施 ・障害支援事業所の活用</p> <p>(東部保健所福山支所) ○専門医等によるころの健康相談を府中市で年2回、神石高原町で年6回、当所で年12回実施した。うち年5回は不眠相談として実施。また、保健師による電話や来所相談を随時実施し、必要に応じて専門医による相談につなぎました。 ○市町等関係機関がかかえる困難事例の相談に応じ、関係機関と連携を図り、早期受診等の対応を行いました。</p> <p>(地对協) ○うつ自殺対策産業保健関係者研修会をそれぞれの市町で実施し(11月、12月)、メンタルヘルス対策についての啓発を行いました。 ○平成26年1月15日に、地域医療連携フォーラムにおいて「職場のメンタルヘルス対策～早期発見から医療地域へ」により、うつ病や自殺に関する講演会を実施しました。 ○不眠に悩む人に相談・受診を促すため、のぼり旗「眠れていますか」を作製・配布した。 ○悩みやストレスを抱えた人に相談を促し、ストレス対処方法を示すため、啓発資料を2種類、各1万部作成し、関係機関を通じて配布しました。</p>				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>精神疾患</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制が整っています。 ○ 医療機関の連携による必要な医療を受けられる体制が整っています。 ○ 認知症患者に対する医療・支援体制が充実しています。 認知症の地域連携クリティカルパスを圏域内全域で導入されています。 <p>(第5期ひろしま高齢者プランにおいて、地域連携パスを平成32年度末までに、県内全域(22地域)に導入することを目標としています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺死亡率(人口10万対)を16.8まで減少させます。 <p>(広島県自殺対策推進計画において、県の自殺死亡率(人口10万対)を平成27年度末までに16.8まで減少させることを目標としています。)</p>		<p>住み慣れた身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 措置入院者等の退院後の病状の再燃、悪化等による再措置、再入院を可能な限り未然に防止するため、退院前関係者会議を実施し、早期に支援を開始することにより地域生活への円滑な移行を推進します。 ○ 市町、保健所、精神科医療機関、訪問看護ステーション等は関係機関と連携し、患者の病状に応じた医療面・生活面のアウトリーチ支援を推進することにより、患者の地域生活の定着を図ります。 ○ 医療的支援のみならず、住居・収入の確保・身の回りの生活等の福祉的支援などの包括的な支援を行い、必要な支援が適切に提供される体制の整備に努めます。 	<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p> <p>(深安地区医師会) ○広島県精神障害者アウトリーチ事業の一部支援を行いました。</p> <p>(松永沼隈地区医師会) ○平成25年7月4日に開催された、平成25年度広島県精神障害者アウトリーチ事業第1回評価検討委員会で、患者の評価検討を行いました。</p> <p>(神石郡社会福祉協議会) ○権利擁護事業(かけはし)を広島県社会福祉協議会から受託し実施しました。現在3名の精神疾患の方の金銭管理を行っています。 ○軽微な日常生活支援サービスとして「神石さわやかネット」を実施しました。主には、通院介助、掃除の支援を行いました。</p> <p>(福山市) ○措置入院者等の退院後の病状の再燃、悪化等による再措置、再入院を可能な限り未然に防止するため、退院前関係者会議を実施しました。 ○2011年度から3年間、広島県のモデル事業である精神障害者アウトリーチ事業を実施し、関係機関と連携を図りました。</p> <p>(府中市) ○退院前関係者会議に参加し、早期に支援を開始することにより地域生活への円滑な移行を推進しました。 ○訪問や相談、ケース会議により、患者の病状に応じた医療・福祉的支援等を進めました。 ○福祉サービスの利用を推進しました。</p> <p>(神石高原町) ○地対協、保健所主催の研修会へ参加しました。 ○障害担当者会議の活用を図りました。</p> <p>(東部保健所福山支所) ○措置入院患者等の退院前に、退院後の地域生活を円滑にするとともに、再びの病状悪化を防ぐため、本人、家族と市町、医療機関等の関係者を交え退院前会議を開催しました。 ○広島県のモデル事業であるアウトリーチ事業との連携を図りました。</p>			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>精神疾患</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制が整っています。 ○ 医療機関の連携による必要な医療を受けられる体制が整っています。 ○ 認知症患者に対する医療・支援体制が充実しています。 認知症の地域連携クリティカルパスを圏域内全域で導入されています。 <p>(第5期ひろしま高齢者プランにおいて、地域連携パスを平成32年度末までに、県内全域(22地域)に導入することを目標としています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺死亡率(人口10万対)を16.8まで減少させます。 <p>(広島県自殺対策推進計画において、県の自殺死亡率(人口10万対)を平成27年度末までに16.8まで減少させることを目標としています。)</p>	医療機関等の連携による必要な医療を受けられる体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精神疾患により速やかな医療が必要なものに対し、迅速かつ適切な医療を提供するため、地域の精神保健指定医、精神科病院、精神科診療所、精神科救急医療施設と連携し、地域精神科救急医療の充実を図ります。 ○ 医療・行政・警察・消防等の関係者による連絡会議を開催し、関係者相互の連携を強化し、緊急時に適切な支援を行える体制の整備を図ります。 ○ 勤労者世代へのうつ・自殺予防対策に係る地域関係機関の連携及び自殺ハイリスク者対策を推進し、うつ・自殺対策に係る産業医・かかりつけ医と精神科医の医療連携によるサポートシステムの構築を図ります。 ○ 身体疾患を合併する精神疾患患者に対する精神科医療機関と内科医等の情報共有の仕組みや、診療協力体制等、医療連携ネットワークの構築に努めます。 	<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p> <p>(深安地区医師会) ○指定医による休日当番を実施しました。 ○労働者向けの講演会を開催(府中地区・神石高原町地区・福山地区)しました。 ○産業医・精神科医・企業関係者による討論会(うつ・自殺対策医療連携協議会)を行いました。</p> <p>(松永沼隈地区医師会) ○平成25年7月23日に、福山・府中地域保健対策協議会第1回うつ・自殺対策医療連携協議会に参加し、前年度事業実績の報告、うつについての普及啓発について協議しました。 ○平成25年10月16日に、福山・府中地域保健対策協議会第2回うつ・自殺対策医療連携協議会に参加し、うつ病早期発見啓発リーフレットの職場配布について、産業保健関係者研修会実施について協議しました。</p> <p>(府中地区医師会) ○かかりつけ医と精神科医の紹介連携システムの活用を図りました。(H22.2月から府中地区医師会として稼働)H25実績2件</p> <p>(福山市) ○圏域の地域保健対策協議会へ参画し、うつ・自殺対策に係る産業医・かかりつけ医と精神科医の医療連携によるサポートシステムの構築を図りました。</p> <p>(府中市) ○メンタルヘルス支援ネットワーク実務者会議(2回)、ケース会議の開催により、緊急時に対応できる支援体制の整備を図りました。 ○事業場健康づくり推進委員会(11月・3月)を開催し、事業場のうつ・自殺対策を協議し、事業の推進を図りました。 ○うつ・自殺対策に係る産業医・かかりつけ医と精神科医の医療連携によるサポートシステムの推進を行いました。</p> <p>(東部保健所福山支所) ○緊急時に速やかに適切な医療が提供できるよう、緊急対応連絡会議を開催し、行政、警察、消防署等の関係者と当圏域における精神障害者の緊急対応等の状況について情報共有及び検討の場を持ちました。 ○土日休日の精神保健福祉措置診察の実施体制を確保するため、東部圏域の精神科救急医療施設と連携し、精神保健指定医の輪番による待機体制(年間121日)を医療機関の協力のもと、東部保健所と連携し実施しました。</p> <p>(地对協) ○地域医療連携フォーラムのシンポジウムにおいて、職場におけるメンタルヘルス対策の実際として、事業所、産業医、精神科医の立場からの報告を行い、産業医、かかりつけ医と精神科医の連携について協議しました。</p>				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>精神疾患</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制が整っています。 ○ 医療機関の連携による必要な医療を受けられる体制が整っています。 ○ 認知症患者に対する医療・支援体制が充実しています。 認知症の地域連携クリティカルパスを圏域内全域で導入されています。 <p>(第5期ひろしま高齢者プランにおいて、地域連携パスを平成32年度末までに、県内全域(22地域)に導入することを目標としています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺死亡率(人口10万対)を16.8まで減少させます。 <p>(広島県自殺対策推進計画において、県の自殺死亡率(人口10万対)を平成27年度末までに16.8まで減少させることを目標としています。)</p>		認知症患者に対する医療・支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ オレンジドクターや認知症疾患医療センター等の医療機関情報をわかりやすく提供するとともに、市町等と連携して早期相談・早期受診の促進に努めます。 ○ 認知症疾患医療センターにおいて、認知症疾患に関する鑑別診断、行動・心理症状(BPSD)の治療、急性期の身体合併症への対応、専門医療相談等を実施し、早期からの専門的な医療が提供できる体制整備を図ります。 ○ 適切な医療とケアを提供するため、医療と介護が連携して患者・家族を支援できる体制の構築を推進し、認知症の地域連携クリティカルパスが圏域内全域で導入されるよう努めます。 ○ 認知症患者の退院支援に当たって、精神科医療機関と地域包括支援センター、介護サービス事業者等との連携に努めます。 	<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所は「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p> <p>(松永沼隈地区医師会) ○認知症サポート医・かかりつけ医について、ホームページへ掲載しました。(予定)</p> <p>(福山市) ○認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を見守り、支援するための認知症サポーター養成講座を、地域、企業、消防署、小中学校等で実施しました。また、講座修了者を対象に、認知症サポーターステップアップ研修を実施し、地域でのボランティア活動を推進しました。 ○認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバン・メイトの資質向上のため、研修会を実施しました。今年度は、認知症疾患医療センターから医師を招いて研修を実施しました。</p> <p>(府中市) ○オレンジドクターについて市ホームページに掲載しました。(毎年4月更新) ○認知症疾患医療センター等の医療機関と連携し早期相談・早期受診の促進を図りました。 ○かかりつけ医と連携を図り、認知症疾患専門医療機関受診支援を行いました。 ○かかりつけ医、認知症疾患専門医療機関、介護支援専門員、介護保険サービス事業者等関係機関との調整を図り本人やその家族を支援しました。</p> <p>(東部保健所福山支所) ○保健師による電話や来所相談を実施し、必要に応じて専門医による相談につなぎました。また、専門医によるこころの健康相談を府中市で年2回、神石高原町で年6回開催しました。 ○市町等関係機関がかかえる困難事例の相談に応じ、関係機関と連携を図り、早期受診等の対応を行いました。</p>			
						<p>・平成25年2月に、光の丘病院が、認知症疾患医療センターに指定されました。</p>	

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>救急医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初期救急医療体制を整備し、広域的な運営体制が確保できています。 ○ 「傷病者の搬送及び受入に関する実施基準」の運用状況を適切に分析・評価することによって、広域的な視点も含め、当圏域における症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方について検討を行います。 		救急医療体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福山夜間成人診療所の広域的な運営が円滑に行われるよう連携を図ります。 ○ 市町は、初期救急患者の受診が適切に行われるよう、住民啓発活動等を積極的に実施します。 ○ 県境を越えた搬送やドクターヘリの運航など三次救急医療にかかる連携の推進を図ります。 ○ 病名登録システムの運用によるデータに基づき、症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方を検討します。 	<p>(福山市医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療体制の充実として、関係機関の協力により、休日当番医制を実施しました。 ○ 休日診療は内科2・小児科1の3医療機関体制で運営しました。 ○ 小児医療の無料化などの影響もあり、小児科患者数が増えてきたため、平成20年度からインフルエンザなどで患者の多い時期(12/15から3/9まで)に限り、小児科については2医療機関体制で行いました。 <p>(深安地区医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福山夜間成人診療所への医師の出務を実施しました。 ○ 救急の日に町民への啓蒙講演会を開催しました。 ○ 救急患者のデータをフィードバックし、救急医療体制の構築に協力しました。 <p>(松永沼隈地区医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年5月27日に開設した、福山夜間成人診療所の運営に協力しました。 ○ 平成25年6月7日に、福山夜間成人診療所第1回運営委員会に参加し、患者数・診療体制の現状報告、薬・緊急出務医リストの要望等について協議しました。 ○ 平成25年7月12日に、福山夜間成人診療所第3回運営委員会に参加し、気づきノートの設置希望・備品の要望等について協議しました。 ○ 平成25年7月23日に、福山夜間成人診療所運営管理委員会に参加し、運営委員会の開催頻度について協議しました。 ○ 平成25年8月5日に、福山夜間成人診療所第4回運営委員会に参加し、交通事故等の診断書作成について協議しました。 ○ 平成25年9月12日に、救急法等講習会を開催し、医療・福祉従事者、地域住民等に、救急医療及び救急業務への啓発を図りました。(福山地区消防組合と共催) ○ 福山夜間成人診療所適正受診に関するパンフレットを配布しました ○ 平成25年10月7日に、福山夜間成人診療所第5回運営委員会に参加し、看護師増員等についての協議しました。 ○ 平成25年10月8日に、福山夜間成人診療所第2回運営管理委員会に参加し、看護師増員・医師出務回数について協議しました。 ○ 平成25年11月29日に、福山夜間成人診療所臨時運営管理委員会に参加し、看護師面接等を行いました。 <p>(府中地区医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 休日当番の運営(調整、広報、実施)を行いました。 ○ 福山夜間成人診療所の運営に協力しました。 			

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所は「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

・5月から、福山夜間成人診療所が診療を開始しました。

・5月から、広島県ドクターヘリが本格運行を開始しました。

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>救急医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初期救急医療体制を整備し、広域的な運営体制が確保できています。 ○ 「傷病者の搬送及び受入に関する実施基準」の運用状況を適切に分析・評価することによって、広域的な視点も含め、当圏域における症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方について検討を行います。 		救急医療体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福山夜間成人診療所の広域的な運営が円滑に行われるよう連携を図ります。 ○ 市町は、初期救急患者の受診が適切に行われるよう、住民啓発活動等を積極的に実施します。 ○ 県境を越えた搬送やドクターヘリの運航など三次救急医療にかかる連携の推進を図ります。 ○ 病名登録システムの運用によるデータに基づき、症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方を検討します。 	<p>(福山市民病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県東部唯一の救命救急センターとして、24時間体制でより重篤な三次救急の患者に対応しました。 ○ ヘリポートも備えるとともに、山陽自動車道福山東ICに近く、県東部に位置するところから、尾道・三原を含む県東部、さらには岡山県笠岡・井原地区までを包含した広域エリアを対象としています。 ○ 福山市民病院救命救急センター連絡協議会を組織し、医療及び消防の関係機関で協議、協力体制を構築しました。 		<ul style="list-style-type: none"> -5月から、福山夜間成人診療所が診療を開始しました。 -5月から、広島県ドクターヘリが本格運行を開始しました。 	
				<p>(神石高原町立病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急告示医療機関の神石高原町立病院において、福山・府中地区二次救急医療機関と連携を図りながら町内の救急患者の受入を行っている。 ○ 消防署との定期会議を開催し、スムーズな救急搬送体制を図っている。 ○ ドクターヘリを活用した連携を行いました。 			
				<p>(中国中央病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外科医不足のため2次救急の外科のみ免除日を設けました。 ○ ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)へ参加しました。 			
				<p>(福山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年5月27日に、福山夜間成人診療所の診療を開始しました。 ○ 市広報(年3回掲載)やホームページへ適正受診の啓発記事を掲載しました。 ○ 夜間成人診療所の開設及び救急医療の啓発チラシを全戸(町内会加入世帯)及び医療機関等へ配付しました。 			
				<p>(府中市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初期救急患者の適切な受診に向けた住民啓発を行いました。 ・地区医師会と連携し、休日当番医制等初期救急医療体制の確保に努めるとともに広報等を通じて周知に努めた。 			
				<p>(東部保健所福山支所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島・岡山県境を越えた医療広域連携会議救急医療・MC体制検討部会が開催され、県境地域の救急医療体制について協議が行われました。 			
<p>(地对協)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療委員会を開催し、福山夜間成人診療所の運営状況、福山方式救急病名登録システムの運用データについて協議を行いました。 ○ 圏域MC協議会と連携して合同会議を開催し、圏域の搬送状況、救急医療体制のあり方について協議しました。 							

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所は「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>救急医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初期救急医療体制を整備し、広域的な運営体制が確保できています。 ○ 「傷病者の搬送及び受入に関する実施基準」の運用状況を適切に分析・評価することによって、広域的な視点も含め、当圏域における症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方について検討を行います。 		救急搬送・MC体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県境を越える搬送と搬送基準の運用について相互理解を含めた連携体制の強化を図ります。 ○ 医療従事者等の資質向上のため、シミュレーション型研修の充実・強化を図ります。 	<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p> <p>(福山市医師会) ○平成25年6月9日、11月24日、平成26年3月23日に、福山市医師会ICLS講習会を開催し、医療従事者等の資質向上を図りました。 ○平成25年6月8日に、インストラクターの養成を目的とした福山市医師会ICLS講習会指導者養成ワークショップを開催しました。 ○平成25年9月8日の救急の日に合わせた取り組みとして「救急医療セミナー」を開催し、医療従事者等の資質向上を図りました。</p> <p>(深安地区医師会) ○二次救急病院を中心に、医師会との連携体制づくりに協力しました。 ○シミュレーション型研修会へ参加しました。</p> <p>(松永沼隈地区医師会) ○平成25年8月7日に、地对協救急医療委員会と福山メディカルコントロール協議会の合同会議に参加し、救急搬送や搬送基準等について協議しました。</p> <p>(福山医療センター) ○平成25年12月4日に、オープンカンファレンス「ピッツバーグから西宮へ、基礎研究から救急医療へ」を開催しました。</p> <p>(神石高原町立病院) ○神石高原町内の医療従事者を対象とした救急蘇生講演会を開催し、職員の資質向上に努めました。</p> <p>(地对協) ○NPO法人備後脳卒中ネットワーク、福山市医師会、福山市、福山地区消防組合と共催し、救急医療セミナー(PCECコース)を開催しました。(受講者24名)</p> <p>(福山地区消防組合) ○中国地区DMAT連絡協議会が主催する病院実働訓練に参加しました。 実施日：平成25年11月9日(土) 実施場所：福山市民病院 参加者：福山消防20人(救急隊、患者など) ○福山府中圏域MC協議会が主催して、JPTECプロバイダーコースを実施しました。 実施日：平成25年12月15日(日) 指導者：約40名 受講生：約30名 ○広島県消防学校が主催する、救急科を受講しました。 実施日：(前期)平成25年11月～12月 (後期)平成26年1月～2月 入校生：前後期約20名 ○広島県消防学校が主催する、救命士教育コースを受講しました。 実施日：(前期)平成25年10月 (後期)平成26年3月 入校生：前後期約6名</p>			
						<ul style="list-style-type: none"> ・5月から、福山夜間成人診療所が診療を開始しました。 ・5月から、広島県ドクターヘリが本格運行を開始しました。 	

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
災害医療対策 【目指す姿】 ○ 災害拠点病院, DMAT, その他の医療機関, 医師会及び防災関係機関が連携して, 災害時医療救護体制を確立しており, 災害発生時には, 迅速かつ的確に医療救護活動を実施し, 慢性期の医療等日常的な医療への円滑な引継ぎが行われます。		災害時に備えた医療救護活動の体制整備	○ 医療活動が災害時に真に機能するための体制を整備・検討します。 ○ 広島県が作成した「災害時医療救護活動マニュアル」(H24.3)に基づいた訓練を実施します。	(深安地区医師会) ○地域での医療救護体制づくりの取り組みを始めました。 (松永沼隈地区医師会) ○広島県地域医療再生事業補助金の災害時の救急医療体制整備事業により, 災害時に必要とする資材(発電機等)を備蓄しました。 (府中地区医師会) ○災害時救急医療機器等を補充, 整備しました。 (神石高原町立病院) ○消防署主催の防災訓練に, 神石高原町立病院の医師等が参加し災害時医療が円滑に行われるよう取り組みました。 (福山市) ○平成25年7月10日, 平成26年2月18日に, 福山市及び4医師会により災害時の医療救護活動に関する協定に係る協議を開催し, 協定の内容について一定の整理を行いました。 (地対協) ○災害時の医療救護活動の在り方について, 県医療政策課が主催し, 市町担当者を集めて意見交換会を開催しました。		—	
		災害拠点病院の機能の充実	○ 災害拠点病院は, 災害対応マニュアルの整備と災害時の医療救護訓練を実施します。	(福山市民病院) ○災害拠点病院・広島DMAT指定病院として, 11月9日には「平成25年度中国地区DMAT連絡協議会実働訓練及び広島県集団災害医療救護訓練」の実働訓練病院となり, 中国5県の災害医療チーム(DMAT)の参集地点として, 化学薬品汚染に対する除染訓練, 院外・院内トリアージ訓練を実施しました。 ○平成25年8月31日の「平成25年度広域医療搬送訓練」(厚生労働省主催)では, 医療モジュールを搭載した自衛隊船舶での搬送訓練に当院の災害医療チームが参加しました。 (日本鋼管福山病院) ○次の訓練・研修に参加しました。 ・10月16日 平成25年度広島空港航空機事故消火救難総合訓練 ・11月9・10日 平成25年度中国地区DMAT連絡協議会実働訓練 ・11月30日, 12月1日 広島県第2回MCLS標準コース		—	

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
へき地医療対策 【目指す姿】 ○ へき地の医療提供体制を構築する医療機関、医師等の医療従事者、県、市町等が連携し、へき地の住民が、必要なときに適切な医療を受けられる体制が整っています。		へき地医療拠点病院等からの支援体制の充実	○ 神石高原町立病院は、巡回診療、へき地診療所等の支援を実施し、引き続き無医地区の受療機会を確保します。 ○ 福山市民病院は、引き続き神石高原町立病院へ医師を派遣し診療を支援します。 ○ 広島県北部移動診療車の巡回診療体制の充実を図ります。	(福山市民病院) ○「へき地医療拠点病院」である神石高原町立病院に対し、中山間地域医療の安心・安全を守るという広域的な視点に立ち、引き続き医師の派遣による診療支援を実施しました。 ○医療を含む生活圏が福山市と一体である井原市において、常勤医師不足により医療ニーズに充分対応できていない状況に対し、広域的連携の下、医療に対する安心・安全の確保の視点に立ち、井原市井原市立市民病院への医師派遣による診療支援を継続しました。		—	
			(神石高原町立病院) ○神石高原町立病院は、巡回診療、へき地診療所等への支援を実施し、引き続き無医地区の受療機会を確保しました。 油屋地区巡回診療 23回 高蓋診療所 50回				
		無医地区等の住民の利便性の確保	○ 神石高原町は「ふれあい号」、府中市は「デマンド型乗合タクシー」により無医地区等の住民の利便性を確保します。	(府中市) ○「デマンド型乗合タクシー」を運行しました。 ・「おたっしや号」の運行を無医地区(上下町岡屋・階見)に対し週2回行っている。			
		(神石高原町) ○「ふれあい号」により無医地区等の住民の利便性を確保しました。					

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所は「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
周産期医療対策 【目指す姿】 ○ 県民が安全・安心して必要な周産期医療が受けられる体制が構築されています。		周産期医療における医療連携体制の推進	○ (総合)周産期母子医療センターとの役割分担と連携により、母体・新生児の安全に考慮した周産期医療体制を確保します。	(深安地区医師会) ○一次施設としては井口産婦人科小児科医院が分娩にあたっています。 ○新生児を含めた高次医療が必要な場合は、福山医療センターへ依頼しました。 ○母体救急の場合は福山市民病院へ、母体合併症がある場合は中国中央病院へ依頼しました。 (福山医療センター) ・平成25年4月26日に、オープンカンファレンス「これからの周産期小児医療：大阪府立母子医療センターの取組」を開催しました。		—	
		公的医療機関の分娩機能の充実	○ 分娩機能を維持・確保していくため、公的医療機関の分娩機能の充実を図ります。	(中国中央病院) ・左記、実施可能な範囲で実施しました。		—	
		医師の確保と負担軽減	○ 行政、医療機関、医師会が連携し、大学に対して医師派遣への支援を求めています。 ○ 医師の負担を軽減するため就業環境の改善対策に取り組めます。	(中国中央病院) ・当直明けに業務過多にならないよう、翌日4時間の特別休暇を取得できる制度を実施しました。 (府中市) ○大学に対する医師派遣支援を要請しました。 ・積極的に大学病院等に対して医師派遣について要請している。		—	
		ハイリスク妊娠・分娩への対応	○ 周産期母子医療センターの機能の充実と、県境を越えた搬送について連携を図ります。	(深安地区医師会) ○想定される新生児のリスク度に応じて倉敷中央病院への母体搬送を行いました。		—	

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針		
		項目	内容						
小児医療対策 【目指す姿】 ○ 医療機関、医師等の医療従事者、県、市町等が連携して、小児医療提供体制を構築し、住民が必要なときに適切な医療を受けられる体制が整っています。		小児救急医療拠点病院の整備	○ 小児二次救急医療を体制安定的に維持・確保するため、中・長期的な視点で、福山・府中及び井笠地域を広域的に担う小児救急医療拠点病院の整備を検討する。	(松永沼隈地区医師会) ○平成25年8月30日に開催された、第1回小児急性疾患学講座(寄附講座)市民講座を後援しました。 ○平成26年1月26日に開催された、第2回小児急性疾患学講座(寄附講座)市民講座を後援しました。 (福山市民病院) ○福山・府中二次医療圏の小児救急病院輪番制病院として、休日・夜間の診療体制の維持・確保に参画しました。 (府中市) ○小児救急医療電話相談の活用について、広報等による啓発を実施しました。 (福山市) ○県及び福山市の寄付により岡山大学に設置した寄附講座において、小児救急医療提供体制の課題と解決策に関する調査・研究を開始しました。		・岡山大学に「小児急性疾患学(寄附講座)」が開設しました。			
		県境を越える小児二次救急患者の受入れ	○ 消防及び関係医療機関が連携し、県境を越えて相互に小児救急患者を受け入れる体制を構築する。	(福山地区消防組合) ○MC協議会の事後検証・症例研究会に相互に参加するなどして、搬送基準の相互理解とMC体制の質の共有化を図りました。			・岡山大学に「小児急性疾患学(寄附講座)」が開設しました。		
		救急医療を担う医師の確保対策	○ 県、市町、関係機関等が連携して、医師確保対策に努める。					・岡山大学に「小児急性疾患学(寄附講座)」が開設しました。	
		医師等の負担軽減	○ 医療従事者の負担を軽減するため、住民への適正受診対策や、医療従事者の就業環境の整備に努め、持続可能な小児救急医療体制の確保に努める。	(中国中央病院) ○積極的に「かかりつけ医」を持ち、逆紹介の推進に努めました。 ○勤務医が専門の治療に専念できるようにしました。 ○医療従事者の組織体制を構築・強化しました。 (日本鋼管福山病院) ○小児二次救急当番日において、小児科医が対応できない患者の診療を行うために、「内科」「外科」「整形外科」のうちの1名を配置しました。 (福山市) ○市広報(年3回掲載)やホームページへ適正受診の啓発記事を掲載しました。 ○適正受診啓発チラシを、赤ちゃん訪問や幼児定期健診等において配付しました。 ○平成25年8月30日、平成26年1月26日に、岡山大学に設置した寄附講座により、小児救急医療に関する講演会を開催し、啓発を図りました。			・岡山大学に「小児急性疾患学(寄附講座)」が開設しました。		

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>在宅医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入院初期から退院後の生活を見据えた退院支援を開始しています。 ○ 在宅医療に係る関係機関の相互連携により、在宅療養者のニーズに対応した医療や介護が包括的に提供される体制が、各市町(日常生活圏域)において確保されています。 ○ 在宅療養患者の急変時における24時間対応が可能な連携体制が構築されています。 ○ 終末期には、患者や家族が希望した場所で最期を迎える体制が確保されています。 		在宅医療の提供体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円滑な在宅療養移行に向けて退院支援が可能な体制を構築します。 ○ 日常の療養支援が可能な体制を構築します。 ○ 急変時の対応が可能な体制を構築します。 ○ 患者が望む場所での看取りが可能な体制を構築します。 	<p>(福山市医師会)</p> <p>○福山府中地区在宅療養支援連携ネットワークにおいて、福山府中地域における在宅医療の円滑な推進(入院から在宅への移行)を図るため、参加する医療機関が緊密に連携して、在宅医療サービスの情報提供および病病、診診連携に必要な活動を行いました。連携のための情報の充実、情報内容の更新、これらをマネージメントする運営基盤について議論を行いました。</p> <p>(松永沼隈地区医師会)</p> <p>○平成25年11月27日に、福山・府中地域保健対策協議会第2回保健医療計画委員会に参加し、在宅医療推進医等リーダー育成研修等について協議しました。</p> <p>(府中地区医師会)</p> <p>○インターネットを利用し在宅患者の情報共有を行い、医療・保健・福祉サービスの連携を推進する「在宅医療情報共有システム」の閲覧及び入力、かかりつけ医や訪問看護ステーション、ヘルパーステーションの職員により度々行われました。</p> <p>○平成25年度在宅医療推進拠点整備事業の実施により、在宅医療の提供体制の構築を推進しました。</p> <p>○かかりつけ医不在時に突然在宅患者や施設入所利用者が死亡した場合に備えて、1年間休日前夜(午後6時)から休日翌朝(午前9時)までを15名の医師が当番制で待機し対応しました。</p> <p>(日本鋼管福山病院)</p> <p>○平成26年1月9日に、福山市医師会が開催した平成25年度在宅医療推進拠点整備事業「多職種連携会」に参加しました。</p> <p>(神石高原町立病院)</p> <p>○県の「在宅医療推進拠点整備事業」を受託し、町民が住み慣れた地域で生活できる在宅医療体制の確立を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進会議の設置(10月) ・在宅医療に関するアンケート調査の実施(11月) <p>(府中市)</p> <p>○地区医師会と連携し、在宅医療推進拠点整備事業を実施し、患者の急変時の対応など在宅医療の体制の整備に取り組みました。</p> <p>(地对協)</p> <p>○保健医療計画委員会を開催し、地域医療再生計画の進捗状況、在宅医療推進医等リーダー育成研修等について協議しました。</p>		<p>7月に、(一社)府中地区医師会、神石高原町立病院が、在宅医療推進拠点整備事業に採択されました。</p> <p>12月に、(社)福山市医師会が、在宅医療推進拠点整備事業に採択されました。</p>	

平成25年度の実施状況等が記載されていますので、
 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。
 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>在宅医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入院初期から退院後の生活を見据えた退院支援を開始しています。 ○ 在宅医療に係る関係機関の相互連携により、在宅療養者のニーズに対応した医療や介護が包括的に提供される体制が、各市町(日常生活圏域)において確保されています。 ○ 在宅療養患者の急変時における24時間対応が可能な連携体制が構築されています。 ○ 終末期には、患者や家族が希望した場所で最期を迎える体制が確保されています。 		在宅医療の連携体制の構築	<p>○ 府中市民病院及び府中北市民病院が中心となって、医療・介護・保健が連携して在宅医療体制の構築を図ります。</p> <p>○ 在宅での緩和ケアのため、麻薬等の薬局間資源の有効利用と地域でのグループ化や、無菌調剤可能施設を増やすなどのサポート体制を構築します。</p> <p>○ 歯科医療における医療連携、かかりつけ歯科医の推進及び高齢者・障害者に対する地域口腔ケアシステムを構築します。</p>	<p>(松永沼隈地区医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成25年6月3日に、平成25年度在宅医療推進拠点整備事業検討会議を開催し、多職種との連携について協議しました。 ○平成25年10月25日に、平成25年度在宅医療推進拠点整備事業検討会議を開催し、多職種連携・在宅等の看取り支援体制の構築等について協議しました。 ○平成26年1月9日に、平成25年度在宅医療推進拠点整備事業多職種連携の会設立に伴う打ち合わせ会を開催しました。 <p>(府中地区医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度在宅医療推進拠点整備事業の実施により多職種の連携体制構築を目指している。 <p>(福山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福山市医師会による在宅医療関係者関係者の多職種の会に参加しました。(予定) ○府中地区医師会による在宅医療推進拠点整備事業の説明会、研修会に参加しました。 <p>(府中市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○府中市病院機構(府中市民病院・府中北市民病院)に対して、在宅医療の推進のための負担金等を交付しました。 ○地域包括ケア推進補助金事業を実施し、医療と介護の連携強化の推進に取り組みました。 <p>(神石高原町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療推進会議が中心となって多職種が連携して在宅医療体制の構築を図りました。 ・多職種連携情報交換会の開催(1月・3月) ・ICTを活用した在宅医療情報共有システムの導入(11月から) ・町民への在宅医療を普及するための「在宅医療講演会」の開催(2月) <p>(地对協)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福山・府中地域在宅医療推進医等リーダー育成研修Ⅱを開催し、多職種による模擬カンファレンス等を実施しました。 			
				<p>平成25年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成26年度の実施状況等に時点修正してください。 修正(追加)した箇所に「下線」を、削除する箇所は「取り消し線」を記載してください。【記入例参照】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・7月に、(一社)府中地区医師会、神石高原町立病院が、在宅医療推進拠点整備事業に採択されました。 ・12月に、(社)福山市医師会が、在宅医療推進拠点整備事業に採択されました。 	